



- 2. 年始のあいさつ
- 4. 民間園長研修会
関東ブロック保育研究大会
- 7. 育児相談研修会
- 8. ぶらんこ・園紹介

- 11. ふじさんっこ応援フェスタ
児童虐待防止静岡の集い
- 12. 各地区での保育園まつり
- 14. 支部だより
- 15. 委員会報告

📷 写真提供：静岡市 麻機保育園

会長挨拶



静岡県保育連合会会長

後藤 弘明

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、県保育連合会の各事業につきまして、皆様のご理解ご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年の十月より、三歳以上の保育料無償化が始まります。消費税二%の増税分の財源が約五・六兆円ほど見込まれる中、その内の一%を、子どもの保育・教育に使うという事で、先の総選挙の折、安倍首相が公約として掲げた政策であります。政府は保育料無償化の必要財源を総額八千三百億円と見込み、十九年十月より半年間は、市町村の負担分二千二百億円を全額国の負担とし、二十年の四月より、国二分の一、県四分の一、市町村四分の一の負担割合となりましたが、市

町村の負担額は全国で四千三百七十億円となるということです。

一方国では、無償化に際して、二号認定の給食材料費を副食代として五千百円（物価上昇調整分の六百円を含む）を保護者から実費徴収とすることを、突然言い始めました。まさに「朝三暮四」のような状況に、唖然としてしまいます。

子どもの保育・教育に一%を使うということは、その財源は約二・八兆円なわけですから、給食代はもとより、地方の負担分も全額、国がみればよいのではと思ってしまうのは、私だけではないと思います。今後の「子ども子育て会議」でどのような結論が出るのかわかりませんが、日本が目指すといった、「全ての子どもの最善の利益」と「質の高い保育・教育の提供」の理念を忘れずに政策を展開してくれることを願っております。

さて、今上天皇の譲位により平成もいよいよ終わりとなり、新たな年号がスタートいたしますが、皇室でさえ世代交代となるのですから、保育界も若い力が大いに発揮されることが求められています。

人口減少や労働力不足、地域格差や経済格差など難題が山積していますが、人間の無力感を研究したセリグマンは、若者の人生から困難や障害や不安や競争を取り除いたら、誇りを持ち、活力ある若者はいなくなるといっていますので、難題がある今こそ、若い力がその能力を開花する時なのかもしれません。今年が私にとりましても、皆様にとりまし

ても幸せな一年でありますことをご祈念申し上げます。

表彰

おめでとうございます

平成三十年度に、県内保育園・こども園関係者で、上部団体から表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献ご功績が認められたものであり、心から喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々ご活躍されますことを祈念いたします。

◆全国保育協議会会長表彰

鈴木 多重子

袋井市 ルンビニ第二保育園

影山 智恵美

浜松市 舘山寺保育園

鈴木 由起子

袋井市 ルンビニ第二保育園

新年の御挨拶



静岡県健康福祉部こども未来局長

関典子

新年明けましておめでとうございます。

平成三十一年の年頭にあたりまして、謹んで御挨拶を申し上げます。

平成三十一年十月からの消費税率10%への引上げの決定を受け、平成三十年六月十五日に閣議決定された、「骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針二〇一八）」に基づき、幼児教育の無償化がさらに進むことが確実になっています。

また、保育を取り巻く環境は、近年の女性の就業率の上昇に伴う保育の申込者数の増加や就労形態の多様化等を要因とする待機児童の発生と保育士不足など、大変厳しいものとなっております。

こうした状況の中、県では、全ての保育所等への入所希望者が入所できるよう、引き続

き市町と連携して、施設整備を進めていくとともに、保育士・保育所支援センターにおける就職支援や潜在保育士の現場復帰支援、子育て支援研修の実施等、保育人材の確保に積極的に取り組んでまいります。

さらに、保育士が働きがいを持って長く働き続けられるための仕組みづくりにも取り組み、昨年六月から保育士等キャリアアップ研修を開始したところであります。研修の実施や事業の運営等につきまして、貴会にお力添えいただいておりますことを、改めて感謝申し上げます。

今後とも引き続き、人材確保及び処遇改善の促進とともに、保育士がより専門性を発揮し、働きやすい環境を整えることで、質の高い保育が確保されるよう、皆様とともに取り組んでまいりたく存じます。

子どもは、社会に希望と活力を与える「地域の宝」であり、この大切な宝を育てる「子育て」は、極めて尊い仕事であります。皆様におかれましては、「子どもの最善の利益」のために、御尽力いただいているところであり、引き続き御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、静岡県保育連合会の益々の御発展と貴会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



◆日本保育協会会長表彰

*永年勤続保育者表彰（施設長）

望月 いづみ

静岡市 千代田保育園

*永年勤続保育者表彰（職員）

太田 洋子

菊川市 認定こども園 愛育保育園

平野 恵子

菊川市 認定こども園 愛育保育園

松下 育子

静岡市 一番町保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

*保育功労賞

中村 雅代

富士市 ひな保育園

山崎 宮子

富士市 松岡保育園

稲葉 智子

富士市 富士わかば保育園

増田 俊一

静岡市 あいわ保育園

◆静岡県健康福祉大会における知事表彰 （社会福祉関係団体役員）

静岡県保育連合会会長

後藤 弘明

富士市 富士保育園

平成30年度 民間園長研修会

私立保育園連盟 第46回関東ブロック保育研究大会

今年度の民間園長研修会は十一月十五日（十六日、熱海後楽園ホテルにて二九九名の参加者を迎えて開催されました。今回は、全国私立保育園連盟関東ブロック保育研究大会静岡大会との共催で県外からの参加者も加わり、

全国私立保育園連盟 第46回関東ブロック保育研究大会静岡大会



熱気あふれる研修会となりました。

『支え合いみんなで子育てをテーマに、喫緊の課題が量の拡充から質の向上へと

シフトしつつある今、子どもの最善の利益を保証するために、実践のプロセスの質を改めて問い直す時機到来の今、この研修を通して、保育の実践と環境、それを支える人材育成と制度理解の観点で保育・教育現場に求められるものを子どもの視点に立って研究する機会となることを目的とした研修会でした。

まず、厚生労働省家庭局保育課保育指導専門官高辻千恵氏より「保育分野の現状と取り組み」について行政説明が行われました。保育の質の検討に当たっては「子ども」を中心に考えることが最も基本。保護者にとって安心・安全・健康が保障されることは大前提。

いかに子どもたちが豊かな体験をしていくのか、何を目指してどんな保育をしようとしていくのかを地域や保護者に理解を得ていくことが重要。また自己評価はそこにとどまらず、次にどうつなげ改善していくかまでが含まれている事。保育所保育要録については、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえて工夫のあるカリキュラムを検討し、保育所保育の理解、領域の考え方プロセスの大切さ、小学校での配慮が伝わるよう、様式の共通性・正合性など見極める必要があると説明されました。



基調講演は、「発達と愛着障害」と

いうテーマで福井大学子どものこころの発達研究センターより杉山登志朗氏にご講演いただきました。近年の虐待件数は一九九〇年代より一〇倍以上になっている。今まで見つけられなかった、また、治療も受けずトラウマ処理できていない人が親世代になっていることなどが要因の一つにもなっているのではという事でした。保育現場でも愛着障害と発達障害が複雑に絡み合っているケースが見られている。愛着障害は、人との関係を作るのに時間がかかる。対応としては、日常生活を大事にする。個別対応する。自分の行動の修正が出来るようにする。とにかく子供を大事にする。〇歳〜二歳の子育てにもっと人とお金をかけるべき。と熱く語られました。

二日目には四つの分科会がありそれぞれ意義ある研修が繰り広げられ充実した二日間の研修となりました。



第一分科会

テーマ【新制度の見直しや無償化問題を考える】

参加者数六八名

講師 保育システム研究所

代表 吉田 正幸 氏

司会 伊豆の国市 慈恩保育園

園長 土山 龍之

記録者 伊豆の国市 ちとせ保育園

園長 小林弘之介

第一分科会では、【新制度の見直しや無償化問題を考える】と迫りくる保育分野の二〇二〇年問題」をテーマに内閣府・厚生労働省・文部科学省といった様々な子どもに関する検討委員の委員を務められている吉田氏より講義が行われました。



子ども子育て支援新制度を〇号認定から捉えたイメージや新制度の見直しに向けた課題、

二〇二〇年度からの次期市町村事業計画への対応など待機児童地域・人口減少地域といった状況が違うなか、地域の市町村の政策の重要性を説明していただきました。

また保育の無償化に関して、無償化の意義（子育て家庭の経済的負担軽減による少子化対策・働く母親への支援）や無償化の課題（保育の量的確保や保育の質的充実）といった今後にも気になる保育の無償化の動向などを説明してくださいました。

吉田氏の講義は参加者にとって、とても充実した時間になりました。

第二分科会

テーマ【保育の環境をどうつくるか】

参加者数六六名

講師 聖隷クリストファー大学社会福祉学部

こども教育福祉学科准教授

細田 直哉 氏

司会 富士宮市 富丘保育園

園長 足立 和俊

記録者 三島市 恵明コスモス保育園

園長 杉村 太地

《「保育」は、「人間」の発達を環境によって引き出し、支える専門的な営みです》と、保育環境がいかに子どもの育ちを支える重要な役割を持っているかを年齢別に具体的に講演いただきました。能力を獲得し終えた大人の遊びとこれから能力を獲得していく子ども



の遊びは違う。大人は「現実から離れる」ために遊び（＝息抜き）、子どもは「現実へ入る」ために遊ぶ（＝学び）である。「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である」とを考慮して、遊びを通しての指導を中心として・ねらいが総合的に達成されるようにすること（認可園要領、幼教育要領）「幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育すること」（保育所保育指針）というように、乳幼児期の教育は、「遊び」を通して行う。そして「幼児期の教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする」（認可園要領、幼教育要領）「保育所は・保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行うことを特性としている」（保育所保育指針）、というように保育は環境を通して行い、子どもの「能動性」と環境の「応答性」を念頭に入れ、環境構成をしてい

く重要性を学ぶことができました。

第三分科会

テーマ「一人一人が生きている組織づくり」

～保育のマネジメントを考える～

参加者数六八名

講師 社会福祉法人相友会 諏訪保育園

園長 島本 一男 氏

司会 富士宮市 野中保育園

副園長 中村 章啓

記録者 裾野市 さくら保育園 園長 櫻井 利彦



一人一人とは、子ども・保育者・地域・自分を指し、すべてが生きている組織であります。組織の中で生きるために「平和的で民主的」

に、お互いが育ち合う同僚性の構築が必要なことです。保育をマネジメントする必要性があるとすれば、記録を基に同僚との話し合いを通して、保育観を揺さぶり、子どもの心を理解す

る感性を共に磨く事のできる仕組みを考え、「子ども理解」の質を高めていく事が必要になってきます。トップやリーダー層にはその事を民主的にマネジメントする力が求められています。子どもの最善の利益を考えるには専門性の向上が求められています。子どもを理解する能力やコミュニケーション能力があることが大切な事です。保育士や保育所の自己評価を職員相互の話し合いを通じて明確にし、共通理解をもつて取り組むことにより、さらに園の人間関係も豊かになっていくのではないのでしょうか。

保育は「人が育つための社会モデルをつくる仕事」であり、一人ひとりが主体的に自分たちの資質・能力を伸ばせる仕組みを日々の業務のなかにかくに組込めるか。また、資質が向上していく組織をどう作っていくべきなのかを考えなくてはなりません。現在の保育が正しいかと思いますが、もう一度自園の保育環境を見つめ直し、考えさせられる有意義な研修会でした。

第四分科会

テーマ「遊具の役割」

参加者数六八名

講師 百町森取締役社長 柿田 友広 氏

司会 御殿場市 萩原保育園

園長 馬場ひとみ

記録者 御殿場市 神山認定こども園

園長 本崎 泰人

現代、人気キャラクターに関連したおもちゃが子どもたちの間で、流行しています。しかし、「果たして子どもの教育に良いのだろうか」「どのようなおもちゃ遊びが今後成長に最適なのか」悩んでいます。

第四分科会では、柿田先生に「子どもは、遊びながら成長する」というコンセプトをもとに保育・教育の中の「遊具」の役割について講演していただきました。

具体的に、乳児は、「運動」「手先の器用さ」「五感」を身につける遊具。幼児には、「ごっこ遊び」「構成遊び」「ルール遊び」「表現遊び」などに必要な遊具の紹介を受け遊具の用い方をレクチャーして頂きました。

子どもにとって遊具とは、環境を通して行われる教育の必需品であり、乳幼児が主体性や自主性を育て、正常な成長・発達を遂げるためには欠かせないものと学びました。



育児相談研修会

期日

東部 平成三十年十一月二十八日 (水)
中部 平成三十年十一月二十日 (火)
西部 平成三十年十一月二十九日 (木)

会場

東部 沼津市民文化センター
中部 静岡音楽館AOI
西部 アクトシティー浜松

テーマ

「親への対応」「話の聞き方、伝え方、話の引き出し方」

講師 ひととき保育高井戸

施設長 磯田節子氏



今年も育児相談研修会が東部・中部・西部の三会場で開催されました。この研修は保育所・認定こども園で相談業務に携わる職員に對し、保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる専門知識や技術等、実践的な能力を習得することを目的に、東京都にあるひととき保育高井戸施設長の磯田節子氏にお願いしました。



午前の研修は対人援助で重要な傾聴の基本と実際について行いました。カウンセリングの現場で実際に用いられる技法についての講義の後に、グループワークを行いました。始めは少し緊張した様子の参加者も、グループワークで徐々に緊張もほぐれ、打ち解けた雰

囲気で研修に向き合うことができました。

午後の研修は事例をもとに実際の相談室や、保育の場面の設定で話し手ときき手に分かれたロールプレイでは、学んだカウンセリングの技法を用いて保護者支援・子育て支援の基本を実践しました。また、新聞紙を制限時間内により高く積み新聞紙ビルディングを行い、グループで感じたこと、気づいたこと等を分かち合いました。

今年度の育児相談研修会は、座学形式ではなく、グループワークを多く用いた体験形式学習であったため、人と人との関わりの原点である「傾聴」や「分かち合い」についての理解が大変深まり、意義深い研修だったと思います。研修で学んだことを職場へ持ち帰り、「心の声を聴く保育者」の裾野が広がってくださることを磯田先生も願われておりました。



小山町 菜の花こども園 園長 武藤ちえみ先生

今回は駿東郡小山町にあります菜の花こども園を訪問させていただきました。大きな工場が点在する山間の道をさらに上ると、小高い丘の上にきれいな建物が二棟見えてきました。複合介護施設菜の花の丘と、道路を挟んで隣接する菜の花こども園です。



「足柄山の金太郎」で有名な御殿場線足柄駅と「あしがら温泉」の中間あたり、東名高速道路の足柄サービスエリアも見える丘の上に位置し、周囲には広大な山林が広がる恵まれた環境の中にありました。子ども達は、園舎の横に昔からある小道を下り、林の中を民家の集落まで散歩に行くのですが、途中の林の中には、トトロが隠れていたり、猫バスのバス停があったりと、映画の世界に入り込んだ体験が出来るそうです。

平成二十八年四月に建てられた平屋建ての園舎の屋根の上では大きなサンタクロースが出迎えてくれます。これは、煙突のある園舎の屋根を見た理事長が、「煙突にはサンタでしょう。」と言って、寄付をしてくれたもので、

クリスマスの時期にはライトアップもされるそうです。

玄関ホールに入ると、正面にはクッション材と人工芝が敷かれた中庭が温かな光を受けていました。夏には、未満児や支援センターに來た親子がプール遊びをするそうです。四方をガラスに囲まれ、どのクラスからでもアクセスできるので、小さな子どもでも安心して遊ぶことが出来ると感じました。



新設された菜の花こども園ですが、町から地元子ども達のいる施設を作って欲しいという強い要望にこたえて設置されたそうです。そのため、地域の方々との交流も多く、育てた花を持って来たり、散歩している途中で声をかけていただき、野菜を持たせてくれたりするそうです。園としても、地域に開かれた園を強く意識していて、文化祭や体育祭へ出かけていく事も多いと伺いました。木造の園舎も地場の木材を多用しており、建設に関わった大工さんも地元の方なので、扉の反りなどの不具合が無いかと心配し

て頻繁に様子を見に寄ってくれ、すぐに直してもらえます。とのことでした。

菜の花こども園では開園当初より休日保育を行っており、三六五日開園して、自園児だけではなく、町全域や隣接する御殿場市からも依頼があるそうです。開設以来二年八ヶ月の間で子どもがいなかったのは、予約キャンセルのあった年末年始の二日だけでしたとおっしゃる姿に頭の下がる思いでした。



隣接している、同じフジ虎ノ門グループが運営する複合介護施設の「菜の花の丘」との交流も日常的に行われており、施設に通うお年寄りが二名位で園内にやってきて一時間

くらい子どもたちと遊んでくれることで、車椅子の方が入ってきてても、子ども達が自然と優しく声をかけられるようになったと園長先生が話してくれました。また、介護施設に常駐している医師が小児科の先生で、子どもの様子を診てくれ、気になることをすぐに相談できる等、本当に理想的な環境にあると感じました。その中で子ども達はのびのびと元氣よく過ごしております。

今回は年末のお忙しい中を快く取材にに応じてくださった武藤園長先生をはじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。

川根本町 三ツ星保育園

園長 中村 妙子先生

今回、中部地区は榛原郡川根本町立三ツ星保育園を取材させていただきました。十二月月上旬、取材班の集合場所の西焼津駅から四十五キロの道のりを車で走っていききましたが、山間部に入ると紅葉がとても綺麗でした。川根温泉を超えて十分ほど走った川根本町役場のすぐ横に、澄み渡る青い空と周りの山々によく映える平屋のL字型の園舎と広い園庭が見えてきました。十時頃におじゃましましたが、子ども達が元気に園庭を駆け回っていました。



三ツ星保育園さんは昭和三十三年に町立上長尾保育園として設立。昭和四十九年には

百二十名の定員となりましたが、平成十七年に地名保育園・瀬平保育園と統合し、平成二十一年から定員七十名となりました。

本年度は幼児三十二名、乳児十名 計四十二名の子ども達を園長先生、保育士さん九名（なんとその内新卒二名 うらやましいですね）、給食さん二名 計十二名の職員で保育



しているそうです。川根本町は町民が約六千九百人余。少子高齢化や離農して町で働く親世代が多く四校ある小学校も内三校は二年生からは複式学級になって

いるそうで、町では町内専用の無料電話や保育料の手厚い補助などの施策も行われているそうです。取材当日はよく晴れた肌寒い日でしたが、子ども達は園庭でサッカーをしたり、鬼ごっこをしたり。タイヤの跳び箱では五つも六つも「見てー」と言って連続で跳んでいく元気な姿を見せてくれました。また、保育室が園庭と直結していて、トイレも自分で行って、また戸外遊びに戻っていくという姿も見られました。ある保育室には山間部らしく!?保護者からいただいた、しいたけの菌床株があっ



たり、発表会になると父母、祖父母、兄弟姉妹でいっぱいになるというホールも備えていました。

五十センチほどの深さのあるプールでは夏の時期、いっぱい水に水を溜めて素潜りする子どももいるそうです。それだけでなく、園のすぐ脇にある河内川にも遊びに行き、川遊びも楽しむそうです。園長先生はちよつとくらいわんぱくでも、元気に明るく育ってほしいという思いを込めて保育を行っているそうです。

子ども達の元気な姿を目の当たりにし、その思いが届き、きつと川根を愛する元気な青少年に育っていくのだらうと思いました。発表会を控えたお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。

磐田市 豊田みなみ保育園 園長 寺澤 達也先生

驚きと感動。あまりの居心地の良さに、取材中は時間が経つのを忘れるくらい、あっという間のひと時でした。

豊田みなみ保育園は、平成二十年に開園され、今年で十一年目を迎えます。

平成二十八年に改築した園舎は、木のぬくもりでいっぱい、室内には陽の光が差し込み、暖色のやわらかな空間が子どもたちを包むようです。

環境への細かなこだわりも、子どもたちにとってくつろげる空間になるようにという保育者の思いにあふれていました。

始めに案内された空間は地域交流室ということで、地域の方との交流を目的とした多目的な空間ですが、まるでおしゃれなカフェにいるようで、とても落ち着きます。



定員は一八〇名、通常の保育以外にも、学童保育、発達に心配のある子の一時保育事業、園の独自事業として、資格を持つ職員が対応する相談支援事業等、地域の子育ての拠点として様々な事業を展開しています。

保育の内容は、課業として、文字を書く基礎づくりや線あそび、鉛筆の持ち方やひらがなの書き方を学ぶ『知育ワーク』。

サーキットや様々な運動遊びを通じて思い切り体を動かす楽しさ味わう『エンジョイスポーツ』、運動能力の発達や伸びを保護者に丁寧伝えるなどし、とても好評を得ているようです。

保育空間は、今までに見たことがないアイデアがたくさんつまっていました。

腰の高さまでのおままごと遊びの空間や、秘密の抜け穴のような通路など、子ども達の目線にたった環境が遊びをより盛り上げていました。



お昼ご飯の時、園長先生が『おにぎりタイム』に向かわれました。

『おにぎりタイム?』全く想像できません。机には、おにぎりを握るセットとエプロンをつけた三名の子どもたち。

「今日はどんなおにぎりをにぎる?」そんなお話の後に一緒ににおにぎりを握ることで、温かくて親密な時間が生まれます。

おにぎりが出来上がると、おかずが準備され、園長先生と一緒に食事の時間が始まります。

毎日を集団でいることが多い中、子ども達に丁寧に関わりたい。ゆったり落ち着ける時間を作ってあげたい。そんな思いがたくさん伝わりました。

子ども達一人一人が満たされ、たくさん笑顔を見ることができ、幸せな時間を共有することができました。

とってもステキで、ほっこりした気持ちになりました。

ふじさんっこ応援フェスタ

第六回目を迎えた「ふじさんっこ応援フェスタ」が、十一月一日にアクトシティ浜松展示イベントホールで開催されました。

この催しは、子育て家庭を応援し子どもを生み育てやすい環境づくりを、行政・企業・子育て支援団体・個人などが一体となって応援し、より多くの県民のみなさまに実際に見て体感してもらおうと毎年行われています。

フェスタには、合計一二〇団体が参加し、当日は子育て中の親子を中心とした約一万人の来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーでは、バンダナを首に纏った寺島保育園児たちが、ペープサートを使った楽しい踊りと歌を披露しました。

また、文京幼稚園児の手話に合唱も披露され、県内のたくさんさんの「ゆるキャラたち」と共に、両園の園児たちに会場からたくさんさんの拍手が沸いていました。

静岡県保育連合会のブースでは、トランスペーパーで折った色とりどりの魚を「親子と一緒に魚釣りを楽しもう」と名打って磁石のついた釣り竿で魚釣りを楽しめました。入り口近くということや、アンパンマンショーの効果もあるとはいえ、開場一時間余りで、用意した魚二匹ずつ一〇〇セットがアツという間になくなってしまい大盛況でした。釣ることが楽しくて、なかなか離れられないお子さんもいました。祖父母と共に三世代で訪れる

方やご夫婦（お父さん、お母さん）でお連れになる方もたくさん見受けられました。

このフェスタ開催を通じ、未就園の子育て親子の多い現状と、子育て世代の情報ネットワークの広がりや、このフェスタへの関心度の高いことを感じました。

また、応援隊として参加できたことで、さまざまな団体が子育て家庭を応援している事やたくさんさんの情報提供がされていることを知りました。何よりこのフェスタに訪れたすべての人が、楽しんで笑顔で帰っていく姿を見ながら、「かけ橋」の役目が出来たのではないかなと思えた一日でした。



児童虐待防止静岡の集い

十一月十日「第十回児童虐待防止静岡の集い」が開催されました。この集いは十一月の児童虐待防止月間において、「児童虐待防止・社会的養護の充実」という課題に対して、県内の行政機関と民間関係団体が一体となつて、広く県民に関心と理解を得るために行われています。

第一部は、県総合社会福祉会館において、子ども虐待防止センター理事の広岡智子さんから「地域の見守り支援が防ぐ『子どもの虐待』」について講演をしていただきました。

第二部は、静岡市中心部でパレードを行い、県保連からは静岡市私立保育園連合会長でもある浅井理事が関係団体と共に県民にPRしました。

さらに「オレンジリボン」も同時に開催され、静岡市私立保育園連合会及び県保連青年部会の先生方には昨年引き続き勇姿を見せてくれました。



特集



保育園の社会貢献活動

保育フェスタ2018

浜松民間保育園園長会

平成三十年十一月十日、浜松市ギャラリモールソラモにおいて第五回「保育園フェスタ二〇一八」を開催いたしました。来賓に浜松市子ども家庭部の金原栄行部長、浜松市議会飯田末夫議長をお迎えし、加盟園の職員、園児、保護者を含め八〇〇人を超える来場者が訪れる盛況ぶりでした。

メインステージでは、開会式で園長会佐藤会長のあいさつの後、来賓から祝辞をいただきました。午前中に加盟園の園児たちによる「和太鼓」「体育あそび」の披露、午後は「気のいい羊たち キッズヒーロー」による親子遊びのパフォーマンスが行われました。

中区は育児相談ブースとお宝釣り、遠鉄百貨店内での写真展、東区は親子の木工体験、西区は絵本を題材とした表現活動、南区は折り紙、廃材あそびとフォトブース、北区は伝承遊びと食育パネル、浜北・天竜区は手作りおもちゃ、レシピの紹介。と市内各区に分かれて親子遊びをメインにブースを展開しました。どのブースも楽しそうに参加する親子でにぎわいました。また、協賛していただいた(株)遠鉄百貨店からいただいたクーポンを手に

親子で買い物を楽しむ姿も見られました。今後もフェスタを継続していき、加盟園がそれぞれ行っている子育て支援の広報と、親子で楽しめるイベントを提供し、地域の子育て世代を応援してまいります。



静岡市 保育フェア

静岡市保育協会

静岡市では、毎年市内の公・私立保育園・こども園の様子を知ってもらうために、静岡市保育協会主催の「保育フェア」が開催されています。清水区は、九月二十三日に清水マリンパークで行われた「福祉のまつり」内において、葵・駿河区は、十一月十七日に葵スクエアにて行われました。

清水区のフェアは、天候に恵まれ快晴の下行われました。多くの福祉関係者が参加するイベントの一角で行われるため、来場者も多く、たくさんの方の市民に保育園・こども園の様子をPRすることができました。

職員による劇やダンス等、多彩な催しが披露され、多くの来場者が足を止め、子どもだけでなく、大人たちも一緒になって楽しんでいました。

葵・駿河区のフェアも天候に恵まれ青空の下で行うことができました。十一月としては珍しい暑さだったため、暑さ対策も心配しましたが、何事もなく開催することができました。会場が静岡市の中心部であることから、買い物客や、周辺のイベントに来た方も立ち寄り、とても賑やかなフェアとなりました。

遊びや製作などの体験コーナーや、写真やパネルで園内の様子を展示するコーナー、またステージの上では市内の各園の職員によるダンスや歌、ペープサートが披露され多くの

来場者に好評を頂きました。

待機児童の問題と同時に少子高齢化の問題が深刻です。大都市に流出する子育て世代を何とか静岡に留まってもらえるような、魅力のある街づくりに、保育園・こども園が力を発揮できれば良いと考えます。

保育園・こども園では、職員全員が、子どもたちの健やかな成長を見守っていることを、多くの方に知っていただけるように、これからも続けて行きたいと思っています。

フェアのために準備していただきました皆様には深く感謝申し上げます。



三島市 第10回ほいくえんまつり開催

九月一日(土) 三島市楽寿園において、第10回三島市ほいくえんまつりが実施されました。このお祭りは、三島市民間保育園長会が主催し、市内の公私立の二十四ヶ園の保育園・認定こども園が共同して開催しています。目的としては、乳幼児期の親子が、保育園での遊びに直接触れ、保育園の教育に対する理解を深めてもらい、保育園の姿を知ってもらうこと、また合わせて親子の触れ合いの場、子育て支援の場として実施されています。

今年は特に第一〇回目という節目のお祭りになりました。



開会式では杉村伸二郎園長会長の挨拶の後、来賓の三島市長からご祝辞をいただき、また保連東部支部長にも出席していただきました。その後、瀬川尊也中郷南保育園園長のラッパでファンファーレ演奏を合図に盛大に開始されました。各保育園による趣向を凝らしたコ

ーナーには、輪投げやモグラたたき、伝承遊び等のゲームコーナー、野菜スタンプやお絵かき、折り紙や工作、また人形劇なども行われました。ステージではピエロのミュージタンさんによる楽しいパフォーマンスも繰り広げられ、親子で楽しい時間を過ごしました。

参加者は千人を超え、これまで何回も足を運んでくれた親子もいたり、もちろん初めて参加した親子もいたり、十年間にわたって続けてきたほいくえんまつりが親子のふれあいの場として定着してきたことを感じさせる一日となりました。



各部だより

東部支部

支部長 白道保育園 土山雅之

一、総会及び施設長研修会

期日 平成三十年五月十五日（火）

会場 沼津市民文化センター 大会議室

講師 坂崎隆浩氏（日保協理事・内閣府子ども子育て会議委員・認定こども園ひがしどり園長）

二、中堅保育者研修会（キャリアアップ研修）

期日 平成三十年八月二十七日～二十九日

会場 三島市箱根の里少年自然の家

講師 細田直哉氏

三、保育の日研修会

期日 平成三十年十月十三日（土）

会場 沼津市民文化センター

四、行政部会研修会

期日 平成三十年十月二十四日（水）

会場 函南町役場

五、青年部企画研修会

期日 十一月二十四日（土）

会場 三島市生涯学習センター

講師 寺町東子氏・猪熊弘子氏

六、民間部会県外施設視察研修会

期日 平成三十一年一月十五日～十六日

視察先 相模原市RISSHO KID'S&より

七、新規採用予定職員研修会

期日 平成三十一年二月二十六日（火）

（二十七日（水）

会場 三島市箱根の里少年自然の家

中部支部

支部長 一番町保育園 海野美代子

一、総会及び施設長研修会

期日 平成三十年五月十八日（金）

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 絵本作家・鳥の巣研究家 鈴木まもる氏

演題 「絵本と鳥の巣の不思議」

二、職員研修会

期日 平成三十年六月二十七日（水）

会場 静岡科学館る・く・る

テーマ 「五感を磨き、高い感性の保育者を目指して」

三、中堅保育者研修会

期日 平成三十年九月五日（金）

会場 静岡音楽館AOI

講師 ウメハナリレーションズ代表 松原美里氏

演題 「中堅がしなやかに輝くリーダーシップコミュニケーション」

四、新規採用予定職員研修会

期日 平成三十一年二月十九日～二十日

会場 静岡県立焼津青少年の家

五、各地区・青年部会事業

各地区ごと・青年部会の事業計画に基づいて実施

西部支部

支部長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

一、総会及び施設長研修会

期日 平成三十年五月十四日（月）

講師 (有)遊育代表取締役 吉田正幸氏

二、保健衛生・安全対策研修会E 3.4

期日 平成三十年六月二十五日（月）

講師 国立感染症研究所感染症疫学センター 第三室長 多屋馨子氏

大阪母子医療センター 消化器・内分泌科 主任部長 恵谷ゆり氏

三、男性職員交流研修会・初任職員研修会

期日 平成三十年九月七日（金）

講師 谷口國博（たにぞう）氏

四、保健衛生・安全対策研修会E 2.1

期日 平成三十年九月十三日（木）

講師 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 専任講師 兒島佳子氏

現代コミュニケーション学部

五、保健衛生・安全対策研修会E 5

期日 平成三十年十月二十三日（火）

講師 NPO法人 保育の安全研究・教育センター 代表 掛札逸美氏

保育の安全研究・教育センター

六、新規採用予定職員研修会

期日 平成三十一年二月十三日～十五日

予算対策委員会

委員長 白道保育園 土山雅之

県下の公私立保育園・認定こども園六百十ヶ園で構成する私たち保育連合会は、子ども・子育て支援新制度が本格施行され、保育制度がこれまでに大きく変革した状況の中、地域で最も身近な子育て支援の拠点として、日々子どもを育ちを保障し、地域の子育て文化を育んでいくため、次の七項目を静岡県に希望对して要望しています。

- ① 食育の充実と推進をするため、非常勤調理員の加配を要望します。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置改善について要望します。
- ③ 保育標準時間に対応した職員配置の配置および処遇の改善について要望します。
- ④ 保育士確保及び定着促進のため、県内市町が保育士宿舎借り上げ支援事業を実施するよう県から市町へ働きかけを行い、県として保育士の就労・定着促進のための環境改善支援策の導入について要望します。
- ⑤ 年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑥ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施設として園舎のさらなる耐震化および施設整備、特に災害対策用の機器、備蓄食料等について充実が図られるよう要望します。
- ⑦ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の

増額について要望します。

加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察先はニュージーランドでした。平成三十年六月三日（日）～七日（木）三泊五日の日程で十九名参加でした。ニュージーランドの保育指針ティファリキに基づく保育現場視察を目的に、現地の三施設を訪問することが出来ました。定員四〇人ほどの家庭的な施設でした。子どもたちの学びのストーリーを一人ひとり丁寧に記録、それをもとに次の学びへとつなげることが大切にされていました。保育の無償化は、週二〇時間までと子どもが守られていることを感じました。各園共に、先住民のマオリ族の文化も大切に継承していました。中でもコハンガレオという園は、マオリ語のみの保育で見学の私たちも身振り手振りで交流を深めました。もちろん、ニュージーランドならではの土ボタルの生息するワイトモ洞窟や、ロトルアの間欠泉、の観光もフットワーク軽く楽しんできました。その国のお国柄を知ることでも学びです。

次年度も六月初旬フィンランド視察を計画中です。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。啓発品についてご案内、ご協力いただいている、「あいあいホットマーク」のクリアファイルを作成しました。「保護者会の集まりなどの資料配布時に利用しているよ」という方も多いです。お申込みでない方も、施設長研修会などご協力いただけますのでよろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会（全国私立保育園連盟関東ブロック保育研究大会と合同開催）、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

さて、「働き方改革」が来年度から本格的

～活動の報告と計画～

に始まる事に伴い、年次有給休暇の確実な取得等によるワークライフバランスの実現、正規と非正規の不合理な待遇差の禁止等の対応が求められることとなります。保育士の仕事に対するネガティブな情報発信が続いておりませんが、これを機に少しでもイメージがアップするようにそれぞれが努めていかなければなりません。

浜松市の教育委員会では、平日の遅い時間の電話連絡を控えるようお願いしたり、夏休み中に休校日を設定したりする等、今年度から一早く「働き方改革」が始まっております。一園での取り組みでは難題です。団体としても「働き方改革」と向き合わなければならぬのかも知れません。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（清水テルサ）

平成三十一年一月二十四日（木）

○新規採用予定職員研修会

平成三十一年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

保育士等キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度から始まった「静岡県保育士等キャリアアップ研修」、「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「保健衛生・安全対策」の四分野が終了し、二月～三月にかけて実施される「マネジメント」研修を残すのみとなりました。受講を終了された皆様へは、修了証を発行

する準備を事務局で行っています。修了証がお手元に届くまでしばらくお待ちください。来年度に向け、職位や職務内容に応じた専門性の向上を図るための研修機会の充実と提供を第一義に、事業実施計画については、委員会のアドバイザーに就任していただいた永倉みゆき先生の助言も頂戴しながら計画を進めているところです。

研修の運営については引き続き役員の皆様のお力をお借りして実施することになります。役員及び事務局の負担軽減も図れるよう検討していきたいと思います。

今後も会員の皆様のご理解とご協力よろしくお願いします。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

今年度は、昨年度に行われた静岡大会で培われた青年部同士のつながりや一体感を今後どう維持し、発展させていくのが課題となりました。そのため、今年度からの新たな試みとして、大会の実行委員会を中心とした青年部運営委員会を組織しました。これは青年部活動の今後の方向性を少数の役員だけで決めていくのではなく、全員が当事者となり課題を提示したり活動に参画していく事ができる、全員参加型の組織を目指していくものです。まだまだ組織としては十分な形ができていない運営委員会ですが、支部や役職、所属する組織の立場等を超えて情報を共有し、一体

感とスピード感を持つて課題に向かっているような組織づくりをしていきたいと思います。

●実績報告

六月八日 青年部総会及びシンポジウム
「園を豊かにするマネジメント」

七月十一日～十三日 全国青年保育者会議
大分大会への参加

十一月二十四日 東部支部研修会（講義）

十二月十日他 西部支部研修会（公開保育）

●今後の予定

三月上旬予定 中部支部研修会

講師を招いての講義又は県外園への視察研修等を予定しています。

広報委員会

委員長 麻機保育園 鈴木克明

現在の広報委員会は、静岡県の東中西より委員を募り、各種の研修やたくさんの方の保育園等の取材を行い、それらを元に関係者の皆さんにも見ていただいております。このほいく静岡の夏号、冬号の発刊をしました。

今後に関しては県保連のホームページのリニューアル等も行い、県保連の活動状況に関係者の皆様にわかりやすくアピールできるようにしていけたらと考えています。

今後とも取材等で皆様にはお世話になると思いますが、ご協力を宜しくお願いします。

紙から創る、コミュニケーション

<http://dainichi-p.co.jp>



自社製造のメモ帳専門メーカーメモ工房。年間 500 万冊以上の実績。販促、ノベルティに最適なメモのことなら大日三協(株)のメモ工房へ！



大日三協株式会社

静岡県静岡市葵区流通センター12-1
TEL:054-263-2435 (代)・FAX:054-263-2409

その他にも色々なメモ帳をご用意！

メモ工房

検索

さまざまな危険からお子さまをお守りする

『園児総合保障共済制度』

AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな“まもり”として本制度をお届けいたしております。

静岡営業支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-1
富士火災静岡ビル5階
☎: 054-686-1150
浜松支店 〒430-7715 浜松市中区板屋町111-2
浜松アクタタワー15階
☎: 053-454-0321
沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町2-10-14
三井生命沼津大手町第2ビル2階
☎: 055-963-8081



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **シャクエツ**

保育士採用解決します!

- ★保育士
- ★幼稚園教諭
- ★英会話講師
- ★調理師
- ★看護師

保育求人ポータルサイト
保育情報どっとこむ
<http://hoikujyohou.com>



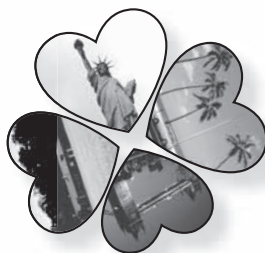
登録者数
55,000 名

採用・欠員で困った時は
 保育の人材紹介・派遣



0120
777-277

さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう! www.tobutoptours.co.jp



“Warm Heart”
 ~ありがとうの連鎖を~



**東武
 トップ
 ツアーズ**

静岡支店

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.054-255-1919 FAX.054-252-9509

こどもの笑顔がみたいから

安心・安全な
 保育園用おやつ



全国の保育園から
 お使い頂いています



株式会社サンワールド

<静岡支店> 〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17

TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

保育所「ICT化推進補助金」対応！

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

園-SiEN(支援)

園児の記録を統合管理します
出席簿・保育日誌・週案・月案等を、
現在ご利用中の書式でデータ管理
できます！

財務会計2019

「新会計基準」準拠！
シンプルに使いやすく、予算～仕訳
～決算まで安心の、財務会計シス
テムです

給与計算2019

「給与実務カレンダー」「職員一覧入
力画面」等、便利な機能を追加して
生まれ変わった、給与計算シス
テムです



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター

株式会社 ユニテック

〒420-0911 静岡市葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ www.unitec.jp メールアドレス eigyo@unitec.jp



子ども・子育て支援制度対応・ICT補助金対象システム 「PAL ANGEL (パルエンジェル)」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の
事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な
ホームページで！
「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が
園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム
低価格で多機能！
「チェックインシステム」

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲
覧状況、受信状況も把握できます！



株式
会社

データサービスセンター

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2
TEL:055-972-7717 FAX:055-976-1057

<http://www.dataeast.co.jp> E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp

編集後記

三島市 白道保育園 土山雅之
充実した研修が数多くありまし
た。今回の広報で伝えられたでし
ょうか？

御殿場市 双葉保育園 勝又秀文
今回の園訪問はすばらしい園でし
た。ご協力ありがとうございました。

沼津市 いずみ保育園 十八公浄滋
今回もいろいろと経験させていただきました。
ありがとうございました。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明
気がつけば平成も終わります。広報も十年近く
やってきました。ありがとうございました。

静岡市 有度十七夜山保育園 笠井友泰
初の取材プラス原稿作りをさせて頂きました。
良かったです。

静岡市 城北保育園 松田 剛
平成最後の広報委員会一生懸命がんばりまし
た。皆さんありがとうございました。

静岡市 竜南こども園 太田嶋俊彦
まだまだ初心者ですが、これからも楽しみな
がら編集がんばります。

焼津市 なかよし保育園 北山 茂
新時代の幕明け！次なるはじめの一步も平和・
命・人権を守りこどもと共に勇気を持って。

袋井市 袋井ハロー保育園 鈴木 康
平成最終号も楽しく編集させて頂きました。次
の月号は何になるか楽しみです！

湖西市 微笑こども園 河田宗康
今回は、がんばって編集を行いました。
取材にご協力いただきありがとうございました。

湖西市 真愛保育園 松浦弘太郎
大分慣れてきました。これからもがんばります。

わんぱくひろば



「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。

✉ 投稿先 静岡県保育連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号

TEL : 054-251-8873